

## インターンシップに参加して

～ 自分の将来を発見！～

夏季休業を利用して、2, 3年生の30名が警察署や消防署、保育所、美容室、特別養護老人ホーム、病院、自動車整備工場など、さまざまな場所でインターンシップを体験しています。

夏休み前半でインターンシップを経験した生徒に感想を聞くと、「働くことの大変さを初めて知り、一生懸命に働いている両親に感謝したい。また、自分の仕事に誇りを持って、そして、楽しんで仕事をするような人になりたい。」「人と関わりを持つ仕事には、人と人をつなげる大切さがあると感じました。」「仕事の大変さや、それを乗り越えるためには、やりがいが必要だと感じた。」と思いきいに話し、自分の将来について考えるきっかけとなったようです。

短期間でしたが、インターンシップに参加することにより、生徒一人一人が大きく成長してくれたように感じます。この体験を自分の進路にぜひ生かして欲しいと思います。



## 「UTY 教育美術展」 テレビ山梨賞を受賞しました

美術・イラスト部 須田 真奈美さん(3年)が、6月に審査が行われた「UTY 教育美術展」においてテレビ山梨賞を受賞しました。

『UTY 教育美術展』は引退前最後の大きな大会ということで、4月から準備を進めていたという須田さん。この大会に懸ける思いはとて強かったといいます。

「高校生は油絵を出す人がほとんど。その中で水彩画で勝負するのは挑戦だった。最後は自分の好きな画材で思うように描きたかった。」と話してくれました。

受賞の知らせを聞いて「3年間の成果がでてうれしかった。最後の最後まで粘り強く描いた甲斐があった。」

最後に「後輩たちも自分の持ち味を生かして頑張ってもらいたい。」と、後輩たちを激励していました。



受賞作品 「静閑」

## 自分の出来栄えに納得 NHK杯、全国高等学校総合文化祭山梨県代表～放送部～

大会が始まる前までは、初めての全国大会で、どんな人たちがどのように朗読やアナウンスをするのか、とても楽しみという気持ちが大きかったです。しかし、いざ大会が始まると、不安や緊張といった気持ちの方が強くなりました。それは、自分以上に高い目標をもった人や、自分以上に練習をしている人たちの姿を目の当たりにしたからです。

けれど、自分自身も精一杯練習してきたことを思い出し、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、納得のいく朗読ができてよかったと思います。最初で最後の大会となりましたが、得たものはとても多かったような気がします。

最後に、後輩達へ。練習をしっかりして、ベストコンディションで一回一回の大会に臨んで欲しいと思います。そして、全国大会への切符を手に入れて下さい。(放送部 3年 荻原 健司)



## 中学生一日体験入学

9月27日(土)

会場：塩山高校  
高校生活を体験してみませんか？  
中学生の皆さんの参加を待っています。



発行：山梨県立塩山高等学校

甲州市塩山三日市場440-1 〒404-0047  
☎ 553-33-2542

発行日 平成26年 8月

# EZ times

夢をカタチに

第2号

2014 Aug



普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『夢をカタチに』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いで学校通信をつくりました。ぜひご覧ください。

## 夏にかける それぞれの思い...

### 3年間の情熱を白球にかける

—野球部—

第96回全国高校野球選手権山梨大会が7月8日に開幕し、本校野球部も熱戦を繰り広げ、私たちに多くの感動を残してくれました。その時々の“思い”をキャプテンの矢崎 涼君に聞きました。



## 「みんなの力を信じて」

- 巨摩高校戦はシーソーゲームでしたが、ベンチの雰囲気はどうでしたか？—  
最初から最後まで、相手チームに向かっていくという雰囲気でした。特に逆転されてから、落ち込むことなく、やってやろうという気持ちになっていました。
- 9回裏、どんなことを考えていましたか？—  
とにかく、同点に追いつくことを考え、追いついてからは、逆転しようという気持ちでいっぱいでした。
- 勝った瞬間の気持ちは？—  
今まで支えてくれた方々に、まず1勝という形で恩返しできよかったと思いました。

## 「全員野球で挑む！」

- 甲府工業戦での意気込みは？—  
全員が一丸となって、挑戦者の気持ちで挑みました。
- 強敵を相手に好戦だったと思いますが、試合を振り返っての感想は？—  
相手チームは打線に力があり、何とか食らいついていき、攻撃につなげようとしたのですが、投手も素晴らしく、力が及びませんでした。
- 最後に、後輩へのメッセージをお願いします。—  
毎日の練習を頑張って、甲子園を目指して欲しいと思います。



# 学園祭に注いだ熱い思い 菩嶺祭の成功を目指して 百花繚乱

6月24日・25日に学園祭が開催されました。  
 生徒会行事として、一大イベントの菩嶺祭。高校生活最後の学園祭を終えての感想を、生徒会長の 三枝 隼人君 に聞いてみました。

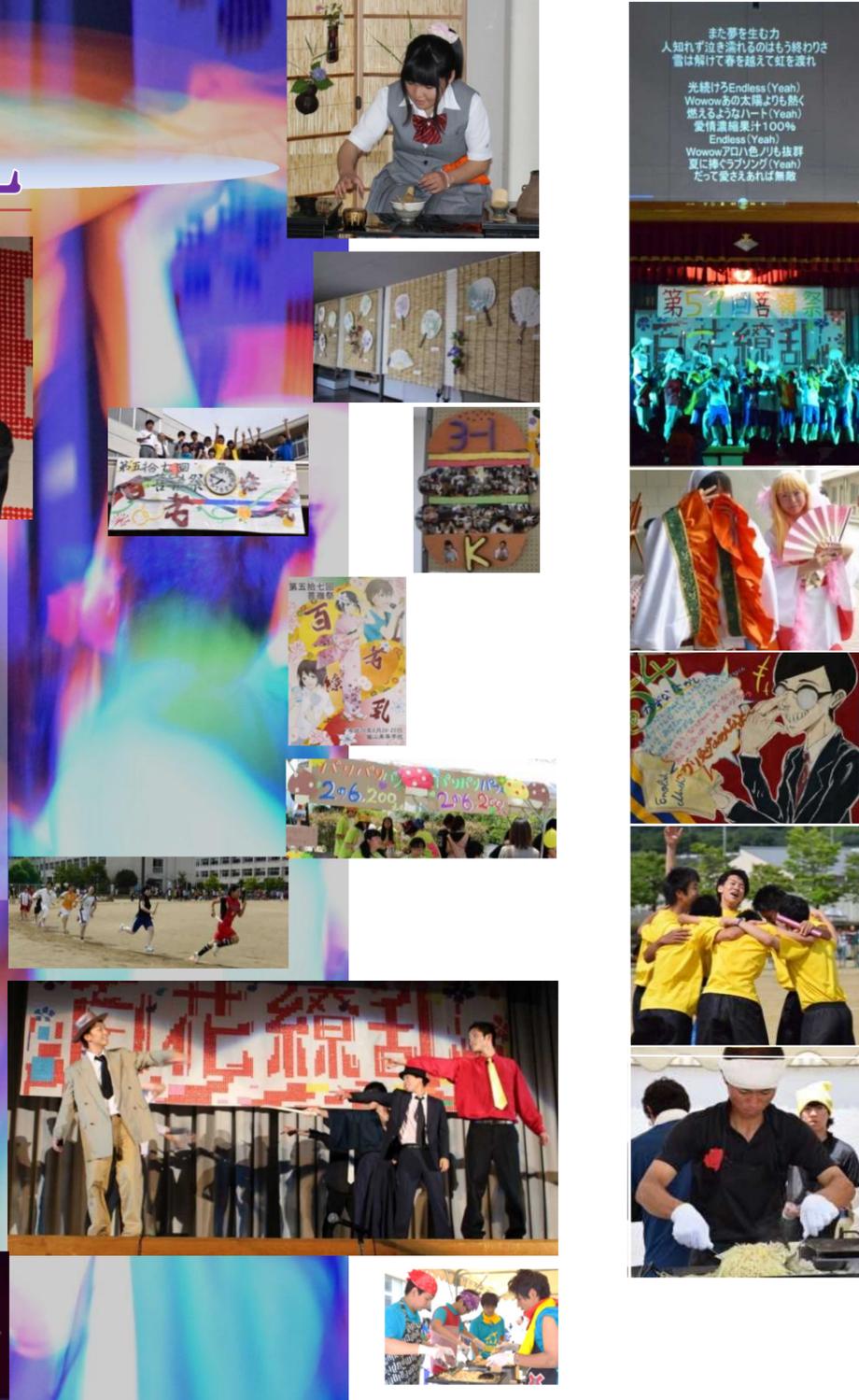
- 高校生活最後の学園祭でしたが、どんな学園祭にしようと思っていましたか？ —  
 生徒全員の力を一つに集結させ、皆でつくり上げる菩嶺祭にしようと考えていました。
- 今年のテーマを「百花繚乱」に決めた理由は？ —  
 テーマを募集したところ、たくさんのテーマの中でひととき輝いており、自分の心にもっとも残った言葉です。皆の力でつくり上げたいと考えていた私たちにとってついでであり、満場一致で「百花繚乱」をテーマに決めました。
- 菩嶺祭が終わり、振り返った感想は？ —  
 準備から本番、片付けまで、特にミスもなく首尾よくできたことは、生徒会本部役員皆の自信となりました。
- 後輩へのアドバイスをお願いします。 —  
 ステージに立つからこそ見える景色と、ステージの上からでは見ることのできない景色があります。自分の尺度だけで物事を判断せず、常に相手の立場を考えながら動き、先のことを予想しながら行動して欲しいと思います。  
 そして、任された仕事は、最後まで責任を持って果たすこと。頑張ってください。



## 「強い絆を感じた学園祭」

学園祭実行委員長  
 3年 尾嶋 彩花

学園祭を振り返ってみると、あっという間だった気がします。あの二日間は、私にとっても塩山高校の生徒にとっても、最高に楽しい時間だったと思います。クラスはもちろん、学校全体が一つになり、絆という大きなものを得ました。  
 私は実行委員長という立場で関わらせていただきましたが、大変さよりも喜びの方が大きく、とてもよい経験になりました。  
 ありがとうございました。



また夢を生む力  
 人知れず泣き濡れるのはもう終わりの  
 言は解けて春を越えて虹を渡れ  
 光輝けるEndless (Yeah)  
 Wowowあの太陽よりも熱く  
 燃えるようなハート (Yeah)  
 愛情濃縮果汁100%  
 Endless (Yeah)  
 Wowowアロハ色ノれ抜群  
 耳は痺らそうらなげ (Yeah)  
 たって戻さぬれば無敵

## いざ、全国大会へ!! — 全国の舞台で頑張ってきた生徒たち。次の目標に向けて始動しています —

### 「次は絶対、結果を残す」 女子ウエイトリフティング部

私たちは「全国女子高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会」に出場しました。昨年、この大会で思うように結果が残せなかったのが、「今年こそは…」と思い、試合に臨みました。  
 試合当日、それほど緊張していませんでしたが、本番直前で失敗してしまい、不安が残ったまま試合に出場しました。その結果、スナッチで3本とも失敗、クリーン&ジャークは2本は成功しましたが、3本目で失敗してしまうという、とても悔いの残る試合になってしまいました。この悔しさをバネに、3月に行われる全国選抜大会では必ず優勝したいと思います。そのためにも、日々努力し、練習に励み、そして、もっと高いレベルを目指していきます。



(2年 新川 百音)

### 女子ソフトボール部 9年ぶりインターハイ出場!

6月のインターハイ予選から早1ヶ月が過ぎ、8月1日にインターハイが開幕しました。9年ぶりに出場を決めた私たちは、日本一を目指し、今まで以上にチーム一丸となって臨みました。  
 念願だった全国の舞台は緊張感と熱気が入り交じり、独特な雰囲気でした。試合は、前年度の覇者に負けてしまい、悔しい結果となってしまいましたが、多くの方の声援を背に、一体となって戦えたことは大変嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。  
 全国大会に出場できたこと、この18人でソフトボールができたこと、そして何より先生、保護者の方を含めた「チーム塩山」で戦えたことは、私の一生の宝物です。



(3年 金子 玲菜)

### 女子相撲部 全国大会3位 入賞おめでとう!

7月に行われた全日本女子相撲郡上大会において、宇津木 春香さん(3年)と砂田 里彩さん(3年)が3位入賞しました。

